

令和元年9月29日
今週のベストショット



奈多グラウンド ブルーマーリンズ 対 新町ウインズ
最終回、一挙に5点差を大逆転！サヨナラ安打の新町ウインズ泉 太一選手。

写真：三友クラブ 大坪 和則

青松園B 1点を争う緊迫した戦いは意外な結末が・・・

奈多サンデーズ(7勝3敗) 2 0 0 0 0 0 1 3 塚本○ー野々下(利)

三苦三球会 (4勝6敗) 0 0 1 0 1 0 0 2 池上●ー半田

2BH：野々下(奈多サ)、池上(三球会) **盗塁**：佐護(奈多サ)、松尾(三球会)

秋が近づき、涼しい風が吹き始めた朝、定刻7時にプレイボールが宣告されて試合が始まった。先発は奈多サンデーズが塚本投手、三球会が池上投手。好投手の投げ合いで1点差勝負の緊迫した投手戦が予想された。先攻の奈多サンデーズは初回、先頭の古賀選手が粘りをみせ四球を選び出塁すると、二番の近藤選手が確実にバントを決め、一死二塁のチャンスをつくる。ここで三番の江口選手がセンター前へ綺麗なタイムリーヒットを放ち、1点を先制。その後、四番の野々下選手もライト前ヒットで続き、一死一三塁で五番八島選手がセンターに犠牲フライを放ち1点を追加。後続は倒れたものの、サンデーズは好投手の池上投手から幸先よく2点を先制する。一回裏1点でも返したい三球会だが、塚本投手のコースをついた投球の前に三者凡退。二回は共に無得点で終え、再び試合が動いたのは三回裏の三球会の攻撃。先頭の藤沢選手がレフトのエラーで出塁し、ワイルドピッチで無死二塁とする。続く打者は三振に倒れるが、ここで九番の橋口選手の右中間へのタイムリーヒットを放ち、1点を返す。三回を終了した時点で2-1の接戦となる。追加点を取りたいサンデーズではあるが、二回以降立ち直った池上投手の前に五回までに8奪三振を喫し1点差のまま試合は終盤へ。追いつきたい三球会は五回、八番堺選手と九番橋口選手が連打で出塁すると、投ゴロ、四球を挟み、一死満塁のチャンス。ここで三番大津選手がライトへ犠牲フライを放ち、遂に同点に追いつく。続く四番の半田選手は四球を選び、二死ながら再び満塁のチャ

ンスとなり一気に逆転したい三球会であったが、後続が倒れ同点のまま五回の攻撃を終える。六回は共に無得点で終わり、引き分けが濃厚かと思われた最終七回に意外な形で決着を迎える。七回表、サンデーズは一死から投手エラーで八番佐護選手が出塁。三球会の池上投手は最後の力を振り絞り、続く九番木下選手を三振にとり二死。トップに返り一番古賀選手のあたりはショートゴロ。打ち取られたかのように見えたが古賀選手の執念の走りで一塁は間一髪でセーフとなり、二死一三塁のチャンス。ここで迎える二番近藤選手は初球からセーフティーバントの構えを見せ、池上投手を揺さぶる。迎えた三球目、池上投手の投げた球はワンバウンドのワイルドピッチとなり、三塁ランナーがホームイン。奈多サンデーズは土壇場の最終回に1点を挙げ、再びリードを奪う。七回裏、反撃したい三球会は一死からランナーを出すが、粘る塚本投手の前にあと1本が出ずゲームセット。コースを突く丁寧なピッチングの塚本投手と、敗れはしたものの13奪三振の池上投手の投げ合いは迫力があつた。ナイスゲーム!!! (記事・写真：和白新町パイレーツ 今村 慎太郎)



コースを突く丁寧なピッチングを見せる塚本投手。



13奪三振の好投を見せる池上投手。



ホームへ生還する三球会藤澤選手。



最終回、バントで揺さぶりをかける近藤選手。



最終回、決勝点を取り喜ぶ奈多サンデーズ。



激闘を終え、称えあう両チームの選手

奈多グラウンド 土壇場で大逆転！新町ウインズがサヨナラ逆転勝利！

ブルーマーリンズ（1勝9敗） 2 1 0 0 4 7 横山(祥)●ー井上(陽)

新町ウインズ（5勝3敗2分） 1 1 0 0 6 X 8 藤田○ー永淵

2BH：児玉（ブルー） 盗塁：江頭（ブルー）、桐島2、泉(太)、安藤(一)（新町ウ）

前日の雨で、少し湿って引き締まったグラウンド状態でブルーマーリンズと新町ウインズの試合は始まった。先発はウインズ藤田投手と、マーリンズ横山(祥)投手。一回表、マーリンズは球が定まらない藤田投手が四死球で一死一三塁とすると、四番糸井選手の三塁への打球は5-4-3のダブルプレーかと思われたがセカンドへの送球が逸れ、外野へボールが転がっていき、その間に一塁走者もホームに返り、マーリンズが2点を先制！その裏ウインズは先頭泉(太)選手が四球で出塁すると、四球、WPもあって三塁まで進む。そして柴田選手が高々とレフトへの犠牲フライを放ち、1点を返す。二回表、マーリンズは一死から八番江頭選手が四球で出塁すると、盗塁、WPで三塁まで進み、内野ゴロの間にホームイン、江頭選手が足で稼いで1点を追加。そして、一番井上(紘)選手が四球とWPで二死二塁とすると、二番児玉選手がセンター前に球を弾き返し、井上(紘)選手が本塁を突こうとするが、ウインズセンター桐島選手の好返球でタッチアウト！追加点を許さなかった。二回裏、ウインズは五番桐島選手が内野エラーで出塁すると、盗塁と送球が逸れた間に三塁まで進む。そして七番永淵選手がセンターへ犠牲フライをきっちり放ち、ウインズも1点を追加した。三回、四回とどちらのチームも塁に出塁はするが、後が続かず、得点できなかつたが五回に試合が動きだす。五回表、ブルーマーリンズは攻撃が始まる前にみんなが集まり、この回が勝負と気合を入れる！先頭打者二番児玉選手が、左打者ながら少し前進気味のレフトの頭上を越えるライナーを放ち、2BHで出塁する。尾田(翔)選手が死球となり無死一三塁となったところで、四番糸井選手がセンターへの犠牲フライを放ち、1点を追加。そして、なかなか安定しない藤田投手がWPで更に1点を与える。二死二三塁となったところで八番江頭選手が放った内野ゴロは一塁への悪送球を誘い、更に2点を追加、この回4点を追加し、マーリンズは5点のリードを得た。あとがないウインズはその裏、先頭九番山口選手が四球で出塁すると、二番安藤(一)選手がセーフティバンドと盗塁を決め、一死二三塁とする。そして疲れが見え始めた横山選手が二連続死球を与え、ウインズは1点を返す。一死満塁で続く五番桐島選手が、きっちりと見逃さずレフト前ヒットを放ち2点を追加！続く藤田選手の打席でWPで1点差となり、二死満塁となったところで、打者一巡し、九番山口選手が四球を選び、ついにウインズが同点に追いついた！横山(祥)選手も声を出し、気合いを入れて投球に臨むが、続く一番泉(太)選手が鮮やかに一二塁間を抜けるライト前ヒットを放ち、三塁ランナーが返り、サヨナラゲームセットとなった。ブルーマーリンズの五回の気合いが入った攻撃も素晴らしかったが、最後に見せたウインズのチャンスで確実にヒットを重ねて5点差を逆転ウインズ打線は素晴らしかった。

（記事：三友クラブ駄原 孝一郎、写真：大坪 和則）



新町ウインズ先発の藤田投手。



ブルーマーリンズ先発の横山(祥)投手。



一回表、送球が逸れる間に三番尾田(翔)選手がホームイン!



一回裏、キッチリと犠牲フライを放つ四番柴田選手。



二回表、四球後すかさず盗塁を決める八番江頭選手。



二回表、二塁から本塁を突こうとするもタッチアウト。



三回裏、レフト前ヒットを放つ三番今林選手。



四回裏、ショートへの内野安打を放つ七番永渕選手。



五回表、レフト頭上を越える二番児玉選手。



絶妙なタイミングでバントヒットを決める六番末松選手



セーフティバンドで駆け抜ける二番安藤(一)選手。



2点タイムリーヒットを放つ五番桐島選手。



五回裏、サヨナラタイムリーを放つ一番泉太一選手。



今日のヒーロー！ウインズ桐島選手と泉太一選手！

雁レク5 タイムリーヒット続出の打撃戦！ 塩浜ジャガーズは毎回得点！

塩浜ジャガーズ (5勝3敗1分) 1 5 2 4 3 1 1 6 末永、道喜○ー猪野

奈多フェニックス (3勝6敗1分) 6 0 1 0 0 1 8 太田●ー実延(新)

HR：荒木、石内(塩浜ジ) 3BH：一ノ瀬(塩浜ジ) 香山(奈多フ) 2BH：藤井(塩浜ジ)

一回表、塩浜ジャガーズは三番荒木選手のタイムリー三塁打で1点先制したものの、一回裏奈多フェニックスが無死満塁から四番実延(新)選手、五番香山選手、六番山本選手の三連続押し出しと、一番今林(英選手)の2点タイムリー等で一挙6点を挙げ逆転。二回表ジャガーズは、内野エラーと四球で満塁のチャンスに、一番一ノ瀬選手の内野安打、三番荒木選手の2ランHR等で一挙に5点を挙げ、6対6の同点に追いつき打撃戦の様相となった。三回表ジャガーズは、一死三塁から八番福田選手のセカンドゴロの間にランナー生還で1点。三回裏フェニックスは、香山選手の内野強襲ヒットで1点を挙げるも後続が凡退。四回表ジャガーズは、五番佐藤選手のセンターへのタイムリー、内野手エラー、九番藤井選手の2点タイムリーで加点。更に七番道喜選手のセンターへの2点タイムリー。その後の押し出し四球等で4点を挙げ優位な試合運びとなった。六回表ジャガーズは、二番石内選手の右中間を抜くホームランで更に加点。六回裏フェニックスは、六番山本選手の犠牲フライで1点を挙げるも、後続が続かず試合終了。塩浜ジャガーズは控え選手の活躍も目立つ好ゲームだった。上位進出を狙えるチームの印象を受けた。(記事：奈多クラブ 今林 俊己、写真：今林 達也)



試合前の整列 選手の数に注目。



奈多フェニックス先発の太田投手。



塩浜ジャガーズ先発の末永投手。



一回表、先制タイムリーの三番荒木選手。



一回表、三塁打の一ノ瀬選手が先制のホームイン。



一回裏、早くも登板のリリーフェース道喜投手。



一回裏、2点タイムリーの今林英二選手。



二回表、2ランHRを放った三番荒木選手。



二回表、鮮やかなレフト前を放つ道喜選手。



フェニックス選手が守備に付いて誰もいなかったベンチ。



10人の20代選手を抱えるジャガーズベンチ！



六回表、ダメ押しHRの二番石内選手。



六回裏、チーム唯一の会心の当たり！三塁打の五番香山選手。



HRを打った荒木選手・石内選手と投打に活躍の道喜選手。

青松園A 投打がかみ合ったフレンズの勝利！

三苦フレンズ0230200 7 山口○-佐藤(由)

ソルトベスターズ0000010 1 小山●-大門

HR: 生野(三苦フ) 2BH: 佐藤(将)、松尾(三苦フ) 盗塁: 生野、松尾(三苦フ) 坂本(ソルト)

ソルトベスターズ先発小山投手は初回、先頭打者を三振にとり、二死から四球を出すものの後続を打ち取り、上々の立ち上がりを見せる。その流れのまま攻撃に移りたいソルトベスターズは、1番坂本選手が低めのチェンジアップを上手く拾い、センター前に落とすヒットを放つと、すかさず盗塁を決め、いきなり無死二塁のチャ

ンスを作る。何とか先制点を奪いたい、相手はリーグ屈指の好投手山口投手、なかなか連打を期待できる相手ではなく、後続が打ち取られ先制点をあげることができない。これで逆に流れがフレンズに行くことになる。この回先頭の五番佐藤(由)選手が三遊間を抜くと、七番佐藤(将)選手、八番松尾選手の連続二塁打で2点を先制する。更に続く三回、五回にも生野選手のツーランホームランなどで5点を追加し、フレンズにとっては十分すぎる点数をあげる。何とか一矢報いたいソルトベイズターズだが、六回に二番三坂選手がヒットで出塁し、フレンズのミスも絡みバッテリーエラーで一点を返すも、反撃及ばず。守備からリズムを作り、チャンスでしっかり得点を重ねたフレンズが勝利した。(記事・写真:三苦ホーネッツ 井手 涼次朗)



ソルトベイズターズ先発の小山投手。



初回、盗塁を決め、チャンスを作る坂本選手。



レフト前ヒットを放つ石井選手。



チャンスを広げる二塁打を放つ佐藤(将)選手。



先制点をあげるフレンズ松尾選手。



三苦フレンズ先発の山口投手。



ホームランを放つフレンズ生野選手。



ヒットを放つソルトベイズターズ酒井選手。



後ろ向きでフライを捕球する野口遊撃手。



健闘を称えあう両チーム。